

【案】

資料3

回答団体名：

担当者名：

連絡先：

ボランティアフォーラム					
項目	行政の評価	行政の評価の根拠	担当課の評価の理由	行政の評価とのズレ度合い	ズレを感じた理由・評価に付け足すべき内容など
事業実施	A	令和3年度は、参加者数146名、YouTube視聴者数延べ260名	参加者数170名、YouTube視聴者数延べ204名。講話では、地域活動を学生ボランティアと一緒にするためにはどうしたらよいかの具体的な話や地域とコラボしている実践学生の話、ブースでは、大学やボランティア活動団体の活動紹介や体験を取り入れた。学生とできる企画のヒントになったことと活動内容を実際見たことで、直接地域活動への依頼があるなど地域と学生がつながる機会となった。	↑	地域活動を行うに際して今後に向けて具体的な話ができた結果、直接地域活動への依頼があり、地域と学生がつながる機会が増えたことは、もっと前向きに評価して良いと思う。
項目	行政の評価	前年度の課題	担当課の評価の理由	行政の評価とのズレ度合い	ズレを感じた理由・評価に付け足すべき内容など
課題への取り組み	A	コロナ禍でボランティア活動を自粛している団体が多い。	当日参加できなかった方からは、講話を聴いて地域活動に活用したいと声が聞かれた。また、複数の学生サークル団体へ地域から活動要請があった。	?	コロナ禍ということで、評価がすることが難しい。
項目	行政の評価	連携先（下線は新規に拡充した連携先）	担当課の評価の理由	行政の評価とのズレ度合い	ズレを感じた理由・評価に付け足すべき内容など
連携への取り組み	A	パートナーシップ協約締結大学、中間支援団体、ボランティア団体、NPO法人、企業、ボランティア連絡協議会、授産施設、 <u>中学校</u>	パートナーシップ協約締結大学、企業及び中間支援団体の活動紹介の他、講座で考えた企画のアイデアを当日実践した。	↓	他にも「●●」や「■■」など拡充すべき機関・団体があったと思う。
貴団体が思う本事業の課題について					
本事業に対する担当課への要望について					

※行政の評価とのズレ度合いの指標

↑：もう少し高い評価でも良いと思う -：相違なし ?：どちらともいえない ↓：もう少し低い評価にしたほうが良いと思う